特定非営利活動法人市民まちづくり会議・むさしの

令和５年（2023 年）度 第 22 回総会

令和５年６月 17 日（土） 午前 10 時～12 時分
場所： 商工会館3F講座室 ※リモート参加可能（委任状提出が必要）

資　料

（審議事項） 議案１ 令和４年度事業報告および決算報告
事業報告書： 別紙１－１参照
収支計算書： 別紙１－２参照
監査報告： 別紙１－３参照
議案２ 執行役員名称の変更（名誉顧問の追加）

（提案事項） 提案１ 令和５年度事業計画及び収支予算
事業計画： 別紙３－１参照
収支予算： 別紙３－２参照

（参考） 令和４年度会員名簿（令和５年３月３１日時点）

別紙１－１　令和４年度事業報告書

§１. まちづくりに関する調査研究事業

昨年度は、新型コロナウィルス感染症が次第に収束し、次第に日常生活ができるようになってきたが、引き続き、集会等による感染リスクに対応するため、当会の活動は一定の制約を受け、事業活動は引き続き、縮小せざるを得なかった。

当会は、個別事業の実施やリモート（zoom）による定例会等の実施を進め、まちづくりや市民活動が絶えることがないように着実な活動を続けた。

§１. まちづくりに関する調査研究事業

１. 景観をテーマにしたまちづくり事業

事業内容１：　武蔵野市景観ガイドラインの検証及び市民向け手引き等のフォローアップ、及び景観に関する市民意識を高めるための啓蒙活動（南）

新型コロナウィルス感染症に対する配慮から、フィールドによる景観調査や啓発活動等は実施できなかった。

２. 古民家ウォッチングの継続と利活用方策の検討

事業内容２：　古民家から KOMINKA へ（山田）

武蔵野市に限らず他地域も含めて、新型コロナウィルス感染症の状況改善を前提に実施を検討したが、川越市を含めて、古民家ウォッチングの実施は具体化できなかった。

３. 都市計画マスタープランの見直しに向けた対応

事業内容３：　武蔵野市都市計画マスタープラン2021 のフォローアップ（役員、篠原）

武蔵野市都市計画マスタープラン 2021 のフォローアップのため、引き続き、会員各自による武蔵野市のまちづくり動向のウォッチは続けたが、当会としての活動はできなかった。

４.「外環の地上部街路に関する話し合いの会」への司会者の派遣等

事業内容４：　中間まとめの会に進行役を派遣し編集作業をサポートする（村井、原、西村）

東京都の新担当のもと事務局サポートのコンサルタントが入札不調で決まらず、中間まとめのスタートは 12 月末と大幅に遅れた。作業部会の構成員は、コロナ禍での家族やご自身の健康状態などの懸念があり、年度内にハードスケジュールで作業部会を開催することは厳しい状況のなか 5 回開くことができた。

作業部会は事務局以外リモートで行われた。コンサルタントや構成員も徐々にこの方式に慣れ、担当と構成員との認識のズレの修正や休眠期間に構成員が作成した校正案について議論のベースが整うなど、一応の成果はあった。しかしながら、まだ完全版の完成までに整理することも多く、令和 5 年度の早い時期にコンサルが決まり早期に作業部会を開くことがカギとなる。

作業部会の開催状況

【第 44 回 2022 年 12 月 22 日、第 45 回 2023 年 1 月 17 日、第 46 回 2 月 8 日、第 47 回 3 月 1 日、第 48 回 3 月 22 日】

5. 三鷹駅北口地区まちづくり協議会・準備会への支援

事業内容５：　「三鷹駅北口街づくりビジョン」について（高田、塩澤）

2022 年度市は、「三鷹駅北口交通環境基本方針の策定に向けた研究会」において、駅周辺交通環境の再整備に向けた検討を行い、その中で、市民向けワークショップが実施され、三鷹駅北口地区まちづくり準備会、むさしのマルシェ実行委員会のメンバーが個々に参加した。

タワーズマルシェは、この地区の一つの顔となって、街に提供される公共空間の活用例として一つの方向性を示しており、3 月、5 月、7 月、9 月、12 月の 5 回開催され、述べ 5,000 人の参加者を集めた。

6. 市民が憩えるプレイス西通りをつくる会への協力

事業内容６：　プレイス西通りについて（中島、篠原）

プレイス西通り（観音院と武蔵野プレイスの間、武蔵境駅西側高架下にいたる都市計画道路）の整備については、10 年程前からの議論があり、プライス西通りの会（中島、田中、篠原参加）で、都市計画決定の変更を行い、歩行者優先の通りとするように、市と直接交渉を繰り返し行い、40 頁ほどの意見書を 10 回ほどの修正を経て市に出していた。市の対応には重大な誤りが 2 点ほどあり直接交渉で指摘し、我々の指摘が正しいことを市は事実上認めた。ひとつは鉄道高架化との関係で重要な都市計画道路の選択肢には区画街路もある点、もうひとつは、国の道路構造令に基づいて市は並木の伐採の伐採は不可避と主張していたが、地方分権化により市の道路構造条例で検討できるようになっていた点である。

この都市計画決定の問題点は４つあり、これらをすべて解決する方法としては、我々の提案を採用するしかないことを指摘した。

①現行の都市計画決定のまま実施した場合、nonowa 口を通行する多くの市民の安全が確保されない（現行の幹線街路の都市計画は、自動車通行を主体とする道路）ので区画街路に変更すべきである点

②駅前でありながら現存する 15 本のけやきとイチョウの並木をすべて伐採しなければならないこと

③現存する広い歩道を狭めて広い車道をつくらなければならないこと

④西側に位置する観音院は江戸時代からの開拓の歴史が反映された寺院であるが、必要なスペースを買収し、お墓を 50 基以上撤去する必要がある点である。

上記の方針変更にあたっては、副市長の決断と現在の担当課の理解によるところ大きい。市は都市計画決定変更への手続きを開始したと聞くが、仮に都が難色を示した場合は、もう少し時間を要するかもしれない。ただし、事前に東京都に直接確認した限り、都がこうした対応に出る可能性は少ないはずである。

7.「武蔵野の森を育てる会」とのコラボレーション事業の実施

事業内容７：　クリーンセンターに武蔵野育ちの雑木を植える企画について（村井、田中）

どんぐり広場に移植した雑木（コナラ、クヌギ、エゴノキ）の育成管理を今後「武蔵野の森を育てる会」と市の協働による体験型環境啓発活動として行うことについては、新型コロナの影響等もあり実現できなかった。

事業内容８：　緑の基本計画のフォローアップ（田中、村井）

二小ゾーンの若返りを成功に導くための保全活動を引き続き丁寧に行うとともに、ナラ枯れを契機に実現した独歩の森の一部再生についても、武蔵野の森を育てる会の再生地の育成活動に協力し、いずれの若返り・再生についても、順調に実施することができた。市とのコミュニケーションについても丁寧に行って協働のあり方を模索した。武蔵野の雑木林を未来へと継承するための市民ネットワークの拡大と市民協議会の設置について

は、武蔵野の森を育てる会の活動が二小ゾーン及び独歩の森再生地の育成に力点を置いていたこと、その一定の成果が明らかになってから広く市民へのアプローチを展開しようと考えたことから、内部的な準備にとどめた。

8.「くらしフェスタむさしの2021」への参加

事業内容９：　くらしフェスタむさしの2022 への参加（村井、報告書は篠原が担当）

「ホームインスペクションのすすめ」をテーマに、くらしフェスタむさしの 2022 に参加した。2022 年 9 月 29 日(木)から 10 月 1 日(土)まで、プレイスでパネル展示を行い、9 月 30 日（金）には、この企画を担当した篠原が講演を行った。また、2023 年 2 月 27 日（月）から 3 月 3 日（金）まで市役所ロビーで二次展示を行った。

9. 様々な大学や研究機関、NPO との地域課題に関するコラボレーション

事業内容 10：　大学や研究機関、NPO などとのコラボを実現する（篠原）

大学や研究機関、NPO などから要請があれば、連携をはかり、協働事業などのコラボを行う予定であったが、具体的な要請はなかった。

10. 長期計画見直しの実施状況の動向把握

事業内容 11：　第６期長期計画策定の実施状況を注視する（南、村井、篠原他役員及び会員）

第６期長期計画の実施状況、特に行財政、都市基盤、緑・環境を中心とした課題については、2 月 19 日に団体ヒアリングに参加して意見するとともに、8 頁にわたる当会の意見書を作成し、パブリックコメントとして提出した。当会会員である中村氏は行財政担当の策定委員を務めている。同じく田中氏は武蔵野の森を育てる会の立場から団体ヒアリングに対応して意見した他、当会の意見書にも緑と環境関する意見を出した。

11. 吉祥寺のまちづくりに関する勉強会の実施

事業内容 12：　課題の多い吉祥寺のまちづくりについて改めて勉強会を開催し、より適格な問題の把握、市や関係者への提案・提言に結びつける（河田、役員及び会員）

吉祥寺に関しては、ハモニカ横丁やヨドバシカメラ裏、南口駅前広場、ＦＦビルの建て替え、ホテル建設と言った課題が多くあり、定例会の実施を通じて意見交換を続けた。

§2. まちづくりに関する支援・連携事業

事業内容 13：　コミュニティ・まちづくり支援活動の実施（役員、会員）

定例会の場を通じて、当会会員の青木氏からコミュニティ協議会等の活動に関する情報を得たり、意見交換を行ったりした。

事業内容 14：　まちづくり出前講座の実施（役員、会員）

外環の地上部街路の計画について、対象地域の住民に充分な情報が伝わっていないという懸念から、むさしの地区外環問題協議会が連続学習会「外環の 2（地上部街路）はどうなっているか」を企画した。当会から村井が参画し、学習会のなかで「中間まとめ作業部会の経過報告」を行った。

学習会の開催状況日
【吉祥寺南コミュニティセンター2023 年 1 月 29 日(日)、本宿コミュニティセンター2 月 26 日(日)、吉祥寺東コミュニティセンター3 月 12 日(日)】

§3. まちづくりに関する普及啓発事業及びネットワークづくり

事業内容 15： 講習会、シンポジウム、まちづくり探訪等の開催（役員、会員）

要請やまちづくり動向の把握に基づき、公園緑地や景観、古民家等のウォッチング、講習会、シンポジウム、まちづくり探訪などを企画し、関係団体と連携して開催する予定であったが、具体化はできなかった。

事業内容 16： 武蔵野市長、市議、まちづくり担当部門、市内外まちづくり団体とのネットワークづくり（役員、会員）

様々な話し合いの機会を通じて、副市長、市議、まちづくりやみどりの担当部門などとのネットワークづくりを実施した。

§4. 事務局業務及びホームページの維持管理・更新等

事業内容 17： 定例会の開催と運営（役員）

次の通り定例会を開催する。

- ✓ 7 月 8 日（金）、消費生活センター講座室、以下、いずれもリモート併用。
- ✓ 9 月 9 日（金）、同上
- ✓ 11 月 11 日（金）、同上
- ✓ 2024 年 1 月 13 日（金）、同上、終了後新年会実施
- ✓ 2024 年 3 月 10 日（金）、4 月 6 日（木）に延期して実施。

事業内容 18： 役員会の開催と運営（役員）

必要に応じてメールを用いて役員打ち合わせを実施。

事業内容 19： 各種届け出業務や会計業務、資料等印刷準備（役員）

東京都への報告や定例会・役員会等の資料作成準備業務、予決算・出納会計業務などを実施。

事業内容 20： ホームページの維持管理・一層の拡充等（山田、篠原）

従来からの外部委託を中心とした維持管理を実施。総会や定例会、長期調整計画等の状況について記事を掲載した。

以上

別紙１－２　令和４年度収支計算書

令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日

（単位：円）

	収入	支出
会費・入会金		
入会金	0	
会費	56,000	
事業		
(1)まちづくり事業	0	
(2)教育事業		
講師派遣	0	
(3)普及啓発事業		
ウェブ会議用 360 度カメラ・マイク		86,295
Zoom 年会費		14,696
その他収入		
寄付	290	
利息	8	
事務管理費		
消耗品		
通信費		
租税公課		
印紙代		
合計	56,298	100,991

収支差額	▲44,693
期首繰入（前期残高）	974,143
期末繰越（当期末残高）	929,450

別紙１－３　令和4年度監査報告書

令和４年度の業務監査及び会計監査の結果、「特定非営利活動法人市民まちづくり会議・むさしの」の業務は、法令および定款に基づき適正に執行され、会計処理は一般に公正妥当と認められる会計原則に基づいて適正に処理されていることを確認しました。

令和５年６月 17 日

特定非営利活動法人市民まちづくり会議・むさしの

監事　竹山 悠紀子　印

監事　青木　一郎　印

別紙2　執行役員名称の変更（名誉顧問の追加）

法人役員に変更はなし。執行役員のうち、顧問　清本 和子氏は、当会の発起人でもあり、永年貢献及び功績を称え、名誉顧問とする。また、清本 和子氏は当会の設立時に多大な寄付を行ったことから、当会の年会費は今後徴収しない。清本 和子氏以外に変更なし。

法人役員

旧		新	
役職名	氏　名	役職名	氏　名
理事長	篠原　二三夫	理事長	篠原　二三夫
理事	南　　賢二	理事	南　　賢二
理事	山田　朗	理事	山田　朗
理事	高田　典夫	理事	高田　典夫
理事	村井　寿夫	理事	村井　寿夫
監事	竹山　悠紀子	監事	竹山　悠紀子
監事	青木　一郎	監事	青木　一郎

執行役員

旧		新	
役職名	氏　名	役職名	氏　名
代表	篠原　二三夫	代表	篠原　二三夫
副代表	南　　賢二	副代表	南　　賢二
副代表	山田　朗	副代表	山田　朗
副代表	村井　寿夫	副代表	村井　寿夫
副代表	高田　典夫	副代表	高田　典夫
副代表	河田　弘昭	副代表	河田　弘昭
事務局長	篠原　二三夫　兼務	事務局長	篠原　二三夫　兼務
監事	竹山　悠紀子	監事	竹山　悠紀子
監事	青木　一郎	監事	青木　一郎
顧問	清本　和子	名誉顧問	清本　和子
顧問	勝倉　啓示	顧問	勝倉　啓示

※引き続き、事務局長は理事長が、当面の間は兼務するが、事務局業務については、以下のように役員が分担して担当する。

①南：NPO 事務手続き関係（東京都届け出関係、定款更新、法務局登録等々）

②篠原：会計出納納税関係（入会金・年会費徴収、口座管理、会費以外入金、出金管理、会計業務、源泉納税業務等々）

③山田、村井：定例会運営管理（議案確認、会員への開催連絡、場所の確保、プロジェクター手配等）

④篠原、山田、村井：総会資料作成、会場準備、当日の運営、記録作成

⑤篠原：ML 配信・受信対応、ウェブ更新等広報業務

⑥村井：くらしフェスタ関係（消費者展関係打ち合わせやフェスタ参加）

別紙３－１　令和５年度事業計画

新型コロナウィルス感染症への対応が進みつつあり、対面での活動が可能になったが、当会の活動においては、高齢の方々や時間的余裕がない方々の参加も考慮し、引き続き定例会や総会等においては、昨年度から導入したウェブ会議システムを活用し、リモートを併用した活動を継続する。

一方、まちづくり活動については、感染症の拡大等の問題がない限り、フィールドにおける活動を再開し、まちづくりウォッチング、古民家調査を再開する他、吉祥寺の諸問題への取り組みや外環中間まとめの記録策定などの事業を実施する。

§１. まちづくりに関する調査研究事業

１. 景観をテーマにしたまちづくり事業

事業内容１：　武蔵野市景観ガイドラインの検証及び市民向け手引き等のフォローアップ、及び景観に関する市民意識を高めるための啓蒙活動（南）

市内全体の景観向上に向けて、引き続き現状の課題把握や啓発事業等に取り組む。

２. 古民家ウォッチングの継続と利活用方策の検討

事業内容２：　古民家から KOMINKA へ（山田、篠原）

武蔵野市に限らず他地域も含めて、新型コロナウィルス感染症の状況改善を前提に実施を検討。

具体的には川越市のまち歩きボランティアの方や幾つかの古民家との繋がりが出来て、より深い古民家ウォッチングが可能になってきたので時期を検討する。龍ケ崎市のシャッター街や古民家の再生に注力している海老塚氏研究会との関係ができたことから、同研究会と共同した事業を企画実施する。

９月には比較都市研究会(海老塚氏主宰)と合同で川越の古民家ウォッチングを開催予定

３. 都市計画マスタープランの見直しに向けた対応

事業内容３：　武蔵野市都市計画マスタープラン2021 のフォローアップ（役員、南、篠原）

新たな武蔵野市都市計画マスタープラン 2021 のフォローアップのため、引き続き、武蔵野市のまちづくり動向をウォッチし、必要に応じてまちづくり推進課との議論の場を設けたり、意見書等を提出したりする。

４.「外環の地上部街路に関する話し合いの会」への司会者の派遣等

事業内容４：　中間まとめの会に進行役を派遣し編集作業をサポートする（村井、原、西村）

東京都の事務局は、５月中にコンサルタントが決定し、６月末から作業部会が開かれる見込みである。

人事異動で課長が変わったが、担当者の異動はなかった。中間まとめを早期に完成させて、次のステージに進むためのスピーディーな進展が期待される。

「中間まとめ（完全版）」の完成まで、構成員の校正案をもとに進めてもまだ数複数回の作業部会開催が必要である。作業部会は、2023 年度もネット会議による開催が検討されている。校正作業の完了後、編集会議（全体会）で内容精査を行い、修正作業を経て今年度中の公表を目指す。今年度も、村井が進行役を継続することを都の担当者に確認した。概要版並行して意見交換が始まっている。

5. 三鷹駅北口地区まちづくり協議会・準備会への支援

事業内容５：　「三鷹駅北口街づくりビジョン」について（高田、塩澤）

2023 年度は、市において三鷹駅北口交通環境基本方針の策定が予定されている。策定に向けた検討の中で、市民が意見を述べる機会が設けられるかどうか不明であるが、機会があれば積極的に参加して、三鷹駅北口に求められる姿の実現に向けて活動していく。

タワーズマルシェは、5 回の開催が計画され、既に 5 月が実施された（3 月は雨天中止）。街に提供される公共空間の活用例として一つの方向性を示しており、これら住民活動を成果として積み上げ、さらにその成果を広げていきたい。

6. 市民が憩えるプレイス西通りをつくる会への協力

事業内容６：　プレイス西通りについて（中島、篠原）

松下市長による令和 5 年度施政方針並びに基本的施策には、「武蔵野プレイス西側の都市計画道路 3・4・27 号線 のあり方 については、武蔵境駅周辺における交通環境の変化等を踏まえた方向性を今後示したうえで、引き続き検討を進めます」とある他、武蔵野市都市計画マスタープラン 2021 では「市道第 74 号線（3・4・27）については、周辺の交通状況等の変化や現在の利用状況を踏まえ、歩行者中心の道路整備について検討します。あわせて、隣接する武蔵野プレイスや境南ふれあい広場公園、寺院の緑や境南通り（3・4・2）など周辺との関係を踏まえ、道路空間の活用を図ります」と記載あり、今後、都市計画決定変更を含めた手続きの進行を注視し、必要に応じて、実現に向けた折衝を行う。

既に 3・4・27 号線の整備における重要課題であった公共トイレの移転は完了し、現場にマッチしない都市計画道路を、武蔵野プレイス前の境南ふれあい広場と一体となった豊かな公共空間、人優先の道路に変貌させる準備は整った。今後、道路というよりも、公共空間づくりに向けて、市民の意見が十分に反映されるような機会づくりを市に働きかけて行きたい.

7.「武蔵野の森を育てる会」とのコラボレーション事業の実施

事業内容７：　クリーンセンターに武蔵野育ちの雑木を植える企画について（村井、田中）

むさしのエコ re ゾートのどんぐり広場に移植した雑木（コナラ、クヌギ、エゴノキ）10 本について、生育状態が必ずしもよいとはいえない。そのため、今年度はまず専門的な見地からみた現状評価と改善方法を、「武蔵野の森を育てる会」及び市との連携によって検討する。

事業内容８：　緑の基本計画のフォローアップ（田中、村井、篠原）

二小ゾーンの若返りと独歩の森一部再生を成功に導くため、武蔵野の森を育てる会による丁寧な育成活動に協力する。一方で、武蔵野の雑木林を未来へと継承するための市民ネットワークを広げるとともに、独歩の森全体の今後の保全についても、武蔵野の森を育てる会との協力により、市とのコミュニケーション、市民協議会の設置等を含め市民と行政との適切な協働のあり方を追究する。

8.「くらしフェスタむさしの2023」への参加

事業内容９：　くらしフェスタむさしの 2023 への参加（村井、報告書は田中が担当）

今年度のテーマは、「独歩の森―ナラ枯れから再生へ―」とする予定。

9. 様々な大学や研究機関、NPO との地域課題に関するコラボレーション

事業内容 10 ： 大学や研究機関、NPO などとのコラボを実現する（篠原）

大学や研究機関、NPO などから要請があれば、連携をはかり、協働事業などとのコラボを実現する。

10. 長期計画見直しの実施状況の動向把握

事業内容 11 ： 第６期長期計画策定の実施状況を注視する（南、山田、村井、塩澤、篠原他役員及び会員）

第６期長期計画の実施状況、特に財政、都市、緑を中心とした課題について注視し、状況に応じて、市や関係者に対する要望や提案を行う。

11. 吉祥寺のまちづくりに関する勉強会及びイースト吉祥寺提案の見直し

事業内容 12 ： 課題の多い吉祥寺のまちづくりについて改めて勉強会を開催し、より適格な問題の把握、市や関係者への提案・提言に結びつける（山田、南、河田、村井、篠原及びその他役員、会員）

吉祥寺に関しては、ハモニカ横丁や南口駅前広場、ヨドバシカメラ裏、FF ビルの建て替え、ホテル建設と言った課題が多くあり、当会としてはまずこれまでの経緯や関連計画書に関する勉強を行い、その上で今後の展開等に関する提案を行うべく活動する。

その第一弾として、ヨドバシカメラ裏の再生計画づくりのために、以前作成した「イースト吉祥寺まちづくり提案」や「デザインガイドライン」の見直しを行う。見直しにあたっては、当時と現在の比較を行うためにタウンウォッチングを企画実施し、次のステップを検討するための部会を設ける。

§2. まちづくりに関する支援・連携事業

事業内容 13 ： コミュニティ・まちづくり支援活動の実施（役員、会員）

コミュニティ協議会等との連携の深化を行い、協力要請には適時対応する。

龍ヶ崎市中心市街地における良好な古民家活性化に関して、中心的リーダーの海老塚氏の要請を受けて、地元の活性化委員会等の支援を行う。

事業内容 14、 ： まちづくり出前講座の実施（役員、会員）

要請があれば、地域団体やコミセン等への講師派遣を検討する。

§3. まちづくりに関する普及啓発事業及びネットワークづくり

事業内容 15 ： 講習会、シンポジウム、まちづくり探訪等の開催（役員、会員）

要請やまちづくり動向の把握に基づき、公園緑地や景観、古民家等のウォッチング、講習会、シンポジウム、まちづくり探訪などを企画し、関係団体と連携して実施する（役員、会員）。

事業内容 16：　武蔵野市長、市議、まちづくり担当部門、市内外まちづくり団体とのネットワークづくり（役員、会員）

各事業を通じて、市長や副市長、市議、まちづくりやみどりの担当部門などとのネットワークづくりを行う。市内外まちづくり団体とのネットワークづくりを行う。

§4. 事務局業務及びホームページの維持管理・更新等

事業内容 17：　定例会の開催と運営（役員）

次の通り定例会を開催する。場所は確認中。いずれもリモート併用とする。

- ✓ 7 月 13 日（木）
- ✓ 9 月 14 日（木）
- ✓ 11 月 9 日（木）
- ✓ 2024 年 1 月 18 日（木）
- ✓ 3 月 14 日（木）

事業内容 18：　役員会の開催と運営（役員）

メールや zoom を活用するとともに、必要に応じて役員会を招集する。

事業内容 19：　各種届け出業務や会計業務、資料等印刷準備（役員）

東京都への報告や定例会・役員会等の資料作成準備業務、予決算・出納会計業務などを行う。

事業内容 20：　ホームページの維持管理・一層の拡充等（山田、篠原）

従来からの外部委託を中心とした維持管理に加え、役員による投稿を奨励し、新型コロナウィルス感染症問題の最中に置かれたまちづくり・地域・コミュニティ情報の発信に努める。記事の投稿件数の拡大やホームページ全体の更新については、この過程において、継続的な課題として検討を続ける。

以上

別紙３－２　令和5年度予算

令和５年度収入見込み：

昨年度繰越額	929,450 円	
会費収入見込み	61,000 円	会員数 31 人予定、入会金 1 名
活動や寄付等による収入見込み	100,000 円	外環とりまとめ関係収入等
収入合計	1,090,450 円	

令和５年度支出見込み：

事業内容	金　額	備　考
１．まちづくりに関する調査研究事業		
･外環の地上部話し合いの会の記録作成	150,000 円	印刷製本費等
･吉祥寺のまちづくりに関する勉強会及びイースト吉祥寺提案の見直し	50,000 円	資料作成費、茶代等
･川越等の古民家ウォッチング事前調査、企画実施費用	50,000 円	講師謝礼等
･武蔵野の森を育てる会とのコラボレーション事業	15,000 円	交通費、資料代、茶代等
･景観をテーマにしたまちづくり事業経費	5,000 円	講師謝礼等
･都市計画マスタープランの見直しに向けた事業経費	5,000 円	資料作成代等
･三鷹駅北口地区まちづくり協議会・準備会への支援	5,000 円	資料作成代等
･市民が憩えるプレイス西通りをつくる会への協力支援	5,000 円	資料作成代等
･予備費	5,000 円	
小計：	290,000 円	
２．まちづくりに関する支援･連携事業		
･コミュニティ・まちづくり支援活動の実施、	なし	
･まちづくり出前講座の実施		
小計：	なし	
３．普及啓発事業及びネットワークづくり		
･講習会、シンポジウム等の開催、ネットワークづくり等	5,000 円	企画費、茶代、資料作成
小計：	5,000 円	
４．事務局業務及びホームページの維持管理・更新等		
･定例会・役員会の開催と運営、各種届け出業務や会計業務、資料等印刷準備	10,000 円	資料作成コピー代等
･ズーム年会費	21,000 円	5 月末更新
･ウェブサイトの維持管理・拡充等	121,361 円	昨年度分 4 月支払済
小計：	152,361 円	
合計：	447,361 円	

収支差額（次期繰越額見込み）：　643,089 円

参考:　令和4年度会員名簿（令和5年3月31日時点）

※敬称略

1	代　表		篠原　二三夫	理事長、事務局長兼
2	副代表		南　　賢二	理事、事務局兼
3	〃		河田　弘昭	事務局兼
4	〃		高田　典夫	理事、事務局兼
5	〃		村井　寿夫	理事、事務局兼
6	〃		山田　朗	理事、事務局兼
7	監　事		竹山　悠紀子	監事
8	〃		青木　一郎	監事
9	顧　問		清本　和子	今年度より名誉顧問とする。
10	〃		勝倉　啓仁	
11	会　員		塩澤　誠一郎	
12	〃		内門　秋弘	
13	〃		西村　まり	
14	〃		高田　昭彦	
15	〃		田辺　軌夫	
16	〃		深田　貴美子	
17	〃		川名　雄二	
18	〃		内山　智子	
19	〃		中島　敏	
20	〃		手塚　一郎	
21	〃		菊池　太郎	
22	〃		中村　郁博	
23	〃		山本　ひとみ	
24	〃		三浦　香澄	
25	〃		原　　利子	
26	〃		田中　雅文	
27	〃		長谷川　正人	
28	〃		梅川　誠	
29	〃		中村　晃博	
30	〃		笹隈　賢次	

○メモ